

第19回理事会で採択した2声明(全文)は次の通り。

日本全国を危険にさらすオスプレイ配備を撤回し、普天間基地の無条件撤去を求める

日米両政府が米軍普天間基地へ飛行配備したオスプレイが、県民の不安を無視し飛行訓練を強行している。普天間基地に配備されたオスプレイは米軍岩国基地や東富士演習場に毎月飛来し、日本上空で米軍が指定した7つの低空飛行ルートを使って訓練を行う計画である。

参加者が10万人を超えた沖縄の県民大会では「配備は容認できるものではない」と決議した。24都道府県1233自治体の地方議会で「配備反対」の意見書が可決されている。墜落事故を繰り返してきた欠陥機オスプレイの配備・訓練は、日本全国を危険にさらすもので、断じて容認できない。

オスプレイの配備は、なほりこみ部隊"といわれる米海兵隊の軍事活動を世界各地に拡大することが目的で、日本の安全保障とは無関係である。尖閣など領土問題に絡めて軍事的備えを強められるという論調もあるが、領土問題は平和的話し合いで解決すべきであり、軍事的圧力で緊張を高めれば問題を悪化させるだけである。

日米両国政府は沖縄にオスプレイを押し

付けるため、「人口密集地は避ける」などの形ばかりの「安全対策」に合意したが、このように無視され人口密集地上空でわがもの顔の飛行を繰り返している。県民・国民のいのちを守る姿勢がないことは明らかである。

また、この間、沖縄で引き起こされた米兵による集団女性暴行事件は、女性の尊厳を踏みにじる蛮行であり、綱紀粛清、再発防止を果たせない米政府は責任を問われる。沖縄に米軍基地がある以上、県民が蹂躪される事件が後を絶たないことは明らかである。基地被害・米兵犯罪を根絶するには米軍基地の全面撤去こそが求められる。

私たちは、国民のいのちと健康を守ることを使命とする歯科医師の団体として、日本国民の安全を脅かすオスプレイ配備の撤回と危険な飛行訓練の中止、普天間基地の無条件撤去を求めるものである。

2012年11月10日

大阪府歯科保険医協会第19回理事会

大阪府歯科保険医協会第19回理事会声明

大間原発建設再開を中止し、原発ゼロへ直ちに決断を求める

野田内閣が認めた大間原発(青森県大間町)の建設再開が始まっている。原発ゼロを求める国民の声を無視し、今後も原発依存を続けるものに他ならない。

野田内閣の「エネルギー・環境戦略」では、「2030年代に原発稼働をゼロにする」とし、原発の運転を40年に制限することや新増設の中止などを打ち出していた。大間原発を完成させ稼働させるとなれば、50年代まで運転は続けることが可能である。「30年代に原発ゼロ」とする目標とも矛盾するであらう。期限を示さないうたい文句の「原発ゼロ」さえ投げ捨てたに等しい。

大間原発が燃料の全てを使用済み核燃料から取り出したプルトニウムとウランを混ぜたMOX燃料でまかなうフルMOX原発であることは重大である。このことは、原発を保持し続けることを前提に、核燃料サイクルの中でプルトニウムの消費に貢献するために他ならない。歴代政府が使用済み核燃料の対策としてきた核燃料サイクル計画の破綻は明白である。再処理工程で生まれる高レベル放射性廃棄物はウラン燃料

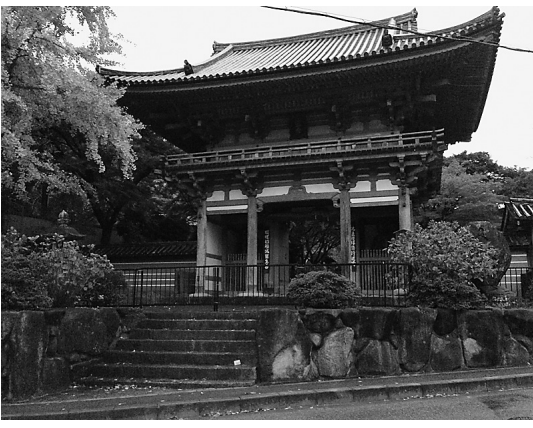
の1億倍の放射能があり、処分の見通しが無い。その上、MOX燃料はウラン燃料に比べて、原子炉の核分裂反応にブレーキをかける制御棒が効きにくいなどの問題がある。原発敷地内や下北半島沖の津軽海峡に活断層がある可能性が指摘されるなど、大間原発建設再開は立地にも問題がある。

福島第一原発事故では、高い放射線量のため、がれきの処理もできない深刻な事態が続いている。野田首相は夏場の電力不足を口実に関西電力大飯原発3、4号機(福井県)を再稼働させたが、電力は十分足りていた。大間原発には建設再開の必要性も緊急性もないことは明らかである。

私たちは、医療現場でのいのちと健康を守る使命を持つ歯科医師として、いのちと健康を脅かす原発に反対する。すべての原発から即時撤退し、節電と自然エネルギーの拡大で「原発ゼロ」の日本の実現を求めるものである。

2012年11月10日

大阪府歯科保険医協会第19回理事会



室町時代初期に建立された楼門。屋根の線は水平のない軒反り、技法で創られ、美しい

紅葉を求めて、池田市 言宗の仏教寺院久安寺への山間にある、高野山真 足を延ばした。公共交通

で行くなら阪急池田駅下車、路線バスで15分あまりだ。

重要文化財の楼門を抜けると、苔むした石垣や楓の老木が迎えてくれる。本坊へと続く参道ではイチョウの木や楓が色づき見ごろであった。山に囲まれた境内は静寂感が漂う。

関西の「花の寺」二十五霊場第十二番の寺として



て知られ、初夏の庭を飾る牡丹も名高い。寺は僧行基によって7

皇の祈願所として再興された。そのころから久安寺と呼ばれるようになったという。

紅葉と牡丹の古刹

255年に創建されたが、その後焼失し、久安元年(1145年)に近衛天

おどろか ウォッチング

245

からなる庭園「虚空園」も見事である。5月になるとこの庭を1000株歩き回ったおかげで、空腹を覚えた。境内にある参拝客目当てのうどん屋へ、一服することにして

の牡丹が埋め尽くす。た。うどの他に、柿の葉巻しも食べさせてくれる。小腹を満たすには柿の葉巻がちょうど良い。おすすめである。

また、寺から南へ少し行けば、大阪の奥座敷と呼ばれる伏見温泉がある。川沿いに建つ一軒宿の不死王閣へ寄って天然温泉で山寺散策の疲れを癒せるのはうれしい。名物の牡丹鍋を味わえば、牡丹と楓を一度に楽しむ贅沢な秋の一日となる。

(新聞部・三木正弘)

協会行事案内

お申し込みは 電話 06-6568-7731
ファクス 06-6568-0564

大阪府西部地区

歯内療法成功の鍵 Part 4

日時 12月2日(日) 午前10時〜午後1時
会場 M&Dホール 定員 100人
講師 木ノ本喜史氏(大阪大学歯学部臨床教授・吹田市開業)

患者トラブルの最近の傾向とその対処法 今、院長がぜひ知っておくべきことは

日時 12月13日(木) 午後6時〜8時
会場 保険医会館 定員 50人
講師 尾内康彦氏(大阪府保険医協会事務局次長)

12月度生涯研修

抗血栓療法患者の抜歯に関するガイドラインを知っていますか? 抜歯時、抗血栓薬を止めてませんか?

日時 12月16日(日) 午前10時〜午後1時
会場 M&Dホール 定員 100人
講師 矢野香氏(国際医療福祉大学三田病院歯科口腔外科部長)

経税部 院長経営セミナー 自院の決算書を読む

日時 2013年1月19日(土) 午後6時〜8時
会場 保険医会館5階会議室 定員 50人
講師 宇治田竜一氏(経税部長、中央区開業)

北大阪地区講習会

歯科における、精神疾患を持つ患者治療のアドバイス

日時 2013年1月19日(土) 午後6時30分〜8時30分
会場 千里朝日阪急ビル14階5号会議室(千里中央駅から徒歩3分)
講師 清水聖保氏(精神科医、東淀川区開業)

1月度生涯研修 周術期患者の口腔ケア

日時 2013年1月20日(日) 午前10時〜午後1時
会場 M&Dホール 定員 100人
講師 大田洋二郎氏(静岡県立静岡がんセンター歯科口腔外科部長)

未入会者とは、会員院所に勤める勤務医未入会者です

※協会行事などを本紙等で報道・紹介するため、講習会などの写真で個人が特定されることがありますが、趣旨をご理解の上、ご了承ください。また、講習会でのビデオ撮影や録音はお断りします。

講習会へ参加ご希望の方は、必ず事前に協会までお申し込み下さい。